



千葉県議会議員 佐倉市・酒々井町選出

入江あき子

2024年
県議会報告
夏号

立憲民主党
The Constitutional Democratic Party of Japan

いのちと暮らし、守り抜く — 当事者の声を政策につなげます —

2024年度6月議会
一般会計補正予算 3億円

6月定例県議会(6/13~7/9) 千葉県独自の 政策を推進



7/4 健康福祉常任委員会

6月県議会代表質問では、20項目にわたる幅広い政策課題について取り上げました。その一部をお伝えします。今議会では、新たに「特定金属取扱にかかわる条例」が可決・成立。昨年9月議会制定された「金属スクラップヤード条例」に続き、熊谷知事による先進的取り組みです。これからも建設的な政策議論を通じ、「命と暮らしを守る」政策を前進させていきます。



6/19 会派代表質問より

孤立可能性集落の備え 市町村への補助を実現

半島性を有する本県でも、能登半島地震と同様の孤立集落の発生が懸念されます。そこで、我が会派は今年2月議会で県による調査を強く求め、市町村への支援を実現させました。

立民代表 孤立可能性集落について、調査結果はどのようだったのか。今後、どのように対応するのか。

知事 調査の結果、孤立の可能性がある集落が532確認された。当該集落内において、避難可能な施設が確保されている割合は約38%、備蓄物資の確保は、飲料水は約13%、食料は約12%。集落が孤立した場合には、外部からの救援等が困難となるため、集落内

に備蓄物資の確保は、飲料水は約13%、食料は約12%。集落が孤立した場合には、外部からの救援等が困難となるため、集落内に



観光業の人手不足 宿泊税の活用を

県内の観光業は、観光消費額で約1兆3400億円、経済波及効果が約1兆3000億円(2018年時点)。宿泊業や飲食店の従事者は約19万人(2016年時点)と県内経済の柱の一つですが、人手不足に悩まされています。今年2月から宿泊税導入に向けた検討が始められています。

立民代表 宿泊税の使途として、人材育成支援を最優先すべきと考

えるがどうか。
知事 千葉県観光振興財源検討会

議では、観光人材の確保やインバウンドを受け入れるための環境整備など、様々な検討が必要との意見が出されている。宿泊事業者や市町村へのアンケート調査結果も踏まえ、議論を深めていきたい。

立民代表 ハード整備ではなく、「観光地域づくり法人」等に従事する地域の経営人材等の育成に優先して宿泊税を使ってほしい。

教職員の心の健康 メンタルヘルスは重要

本県の教職員の精神疾患による病欠



休職者数は、令和2年度177人、令和3年度183人、令和4年度208人と年々増え、休職を取る前に退職してしまうケースもあります。

立民代表 労働安全衛生法では、「月80時間以上の時間外勤務を行った教員に対し、申し出により医師との面談を実施すること」とされているが、県教育委員会の対応はどうか。

教育長 令和5年11月の県立学校教職員を対象とする調査では該当者が329名。医師の面接指導は、法令上、本人の申し出により遅滞なく実施することになっており、調査の翌12月の実施件数は27件だった。

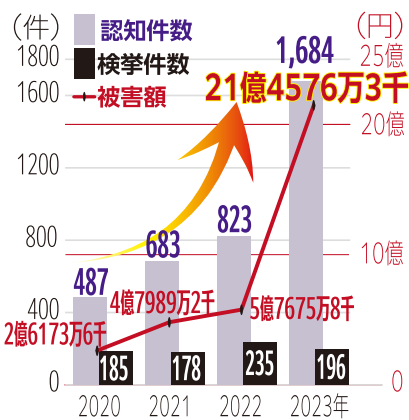
立民代表 実施率は8.2%と極めて低い。教職員の健康を守っていくため、適正に対応をするよう求める。

特定金属取扱業の規制 新たな条例が可決成立

R7.1.1施行

県内における令和5年の金属盗難の被害件数は過去最多、前年と

千葉県内における金属盗難の現状



県警の資料に基づき、グラフ作成



主要特定金属類

比べて急増(認知件数:全国ワースト2位)。太陽光発電設備等の電線、道路上のグレーチングやマンホールの蓋、工事現場の敷板や足場板等の盗難被害が多い。その背景として

- ① 県内の太陽光発電設備や建設資材を扱う工事現場に再生資源として価値のある金属類が豊富に存在
- ② 金属類の市場流通価格の高騰
- ③ 盗品を買い取る*金属類取扱業者の存在があります。

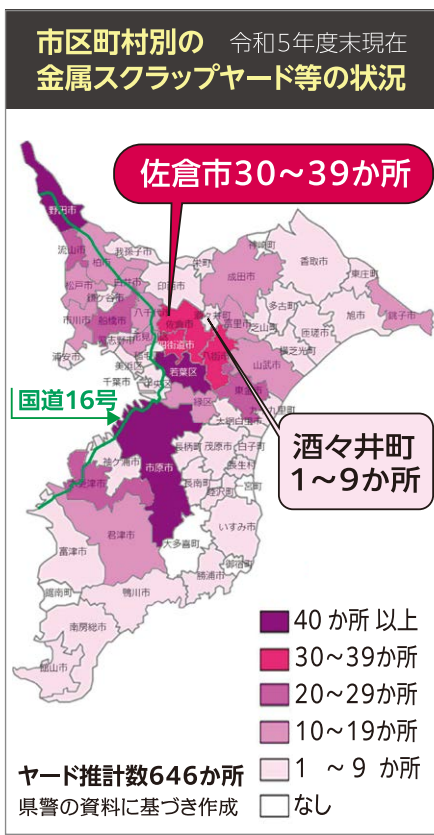


① 再生資源としての価値があっても、本来の使用目的での使用ができない「廃製品」の売買等については、古物営業法の規制が及ばないため、盗品等の流通防止が困難なこと

② 経済活動を優先して不正品と疑いながらも取引相手や金属類について慎重な確認を行わずに取引する状況があることです。そこで、

県警本部長 本条例案では、警察が特定金属類取扱業者に対して、立入検査や報告徴収等を行うことができることとされている。県警では、適正に営業しているかを確認し、必要な指導を行うっていくが、指導に従わないなど悪質な事業者に対しては行政処分や事件化による罰則の適用を検討していく。

*金属類取扱業者 金属類を買い取り、一定量を集めて選別や破碎等を行うことで利ざやを稼ぐ業。大部分は保管場所として金属スクラップヤードを設置し、同所で取引を行うほか、工事現場などへの出張買取を行う業態。



会派代表質問より

入江が担当しました 答弁要旨はこちらから→



校内居場所カフェの推進

「校内居場所カフェ」は、いじめや貧困、ひきこもり等、困難を抱えながらも公的支援につながらずに孤立する若者の早期発見、予防型支援を行う場として、県内ではNPOが先行実施し、私もその活動を担ってきました。

その成果を踏まえ、県は、2022年度から県立高校での「校内居場所カフェ」モデル事業を開始。委託先の中核地域生活支援センターと地域の子ども食堂や



2/18 県立千葉大宮高校 居場所カフェ・食支援

NPO、大学生ボランティア等が協力し、昨年度までに10校で実施しています。

2年間のモデル事業終了後、3年目を迎えた現場から「財政面での厳しさ」を訴える声を受け、関係団体や県側と意見交換を重ねてきました。この問題を代表質問で取り上げ、副知事から「今後も困難な状況にある生徒の居場所を安定的に確保できるよう、関係機関等と協議しながら必要な支援を行っていく」との力強い答弁を得ました。

働きづらさを抱える人の就労支援

病気やひきこもり等、様々な理由で働きづらさを抱える人を対象に、県は「新たな就労支援モデル事業」を始めました。この事業の効果を質問したところ、就労訓練を行った82名の内、12名が一般就労、36名が福祉的就労につながり、34名を継続支援している(2022年9月～今年3月)ことが分かりました。利用者からは、「就労に向けたハードルが低く挑戦しやすい」「サポート体制が整っているので、仕事に対する自信が付き、気持ちが前向きになる」等の意見が寄せられているとのこと。

深刻化する「8050」問題に対し、長く社会から断絶されているひきこもりの方への支援、就労や社会復帰に向けての公的支援は欠かせません。すべての人に居場所と出番がある地域社会に向けて、多様性尊重条例を制定した千葉県に期待します。

7/4 健康福祉常任委員会での 主な質疑

詳細は、QRコードでご覧になれます→



常任委員会では、不正行為をした障害者グループホームへの対応、専門職の採用・確保、困難を抱える若年女性への自立支援、県立病院の機能強化と経営健全化について、質疑しました。

健康福祉部

◆議案第8号 印旛児童相談所建設契約の締結について

◆諸般の報告・その他

- (1) 株式会社恵の障害者グループホームに係る不正行為等への対応について
- (2) 児童福祉・保健医療関係の専門職種の採用・確保について
- (3) 困難を抱える女性への支援について

病院局

◆諸般の報告・その他

- (1) 医事業務のチェック状況について
- (2) 総合救急災害医療センターについて

まずは現場へ！活動報告



6/12 会派視察 千葉県酪農のさと



6/12 会派視察 渚の駅たてやま



5/27 常磐植物化学研究所訪問



6/17 横芝敬愛高校「学び直しの教育」を視察



4/16 蒲郡市サーキュラーエコノミー(循環型経済)・高齢者施策について視察調査



4/17 広島県での視察調査 不登校支援 / 多様な学びの場の確保 / 児童虐待予防的支援構築事業 / 感染症・疾病管理センターについて



3/22 やまなしハイドロジェンカンパニー



5/26 佐倉市消防団消防操法大会



5/9 佐倉市立美術館企画展



3/22 やまなしハイドロジェンカンパニー

9月県議会の予定 開会 9/11(水)～開会 10/9(水)

代表質問・一般質問 9/18(水)～20(金) 24(火)～27(金)
常任委員会 10/1(火)～4(金)

15年半ぶりの 改革となるか?!

千葉県議会の議会改革度は、直近で全国42位と低迷(早大マニフェスト研究所調べ)。議会改革を議論する場の設置が急務です。千葉県議会では15年半前に「議会のあり方検討会」が設置され、費用弁償や委員会の開催方法等について議論されたのが最後。その後、ペーパーレス・オンライン化など単発的な改善はあるものの、議会改革を包括的に議論する場はありませんでした。

6/6 会派代表者会議において、我が会派から「議会改革を議論する場」の設置を提案。国政における「政治と金」の問題、政治不信の高まりを受け、「元元から政治への信頼を取り戻そう」と会派内で声が上がりました。議会改革プロジェクトチームを立ち上げました。単発的な論点の提示ではなく、議会基本条例・政治倫理条例の検討を含む本格的な改革を目指していますが、まずは各会派の合意を得て「議論の場」を作らなければ、前に進められません。

代表者会議のメンバーは、自民・立民・公明・千政団・共産の5会派とその他会派オブザーバー1名の計6名。私たちの提案に対する「異論」はなく、伊藤昌弘議長長の取り計らいにより、無所属も含めた全会派の意向、賛否を8月末までに集約することになりました。改革に向けて「前進」となるか、注目してください。

入江あき子事務所

〒285-0846 佐倉市上志津 1621-8 (2階)
電話 / 043-420-8758
fax / 043-420-8759
mail/akiko.machi3@gmail.com

いのちと暮らし、守り抜く

詳しくはこちらをご覧ください

入江あき子サイト <https://irieakiko.jp/>



プロフィール

1965年
宮城県仙台市生まれ
1988年
国際基督教大学(ICU)
教養学部社会科学科卒業
2003年4月～
佐倉市議会議員
2011年4月～
千葉県議会議員

現在

千葉県議会議員 4期目
健康福祉常任委員会委員
会派「立憲民主党千葉県議会議員会」会長
立憲民主党千葉県連 副幹事長・組織委員長
連合千葉議員団会議所属
千葉県地方自治研究センター所属
千葉県議会地震・津波対策議員連盟所属
千葉県議会資源エネルギー問題懇話会所属
千葉県議会不登校児童生徒の教育機会確保・支援推進議員連盟
全国災害ボランティア議員連盟所属